

(Ⅶ－ 6) 漁港・漁村の比較研究―飯岡町と真鶴町を例として―

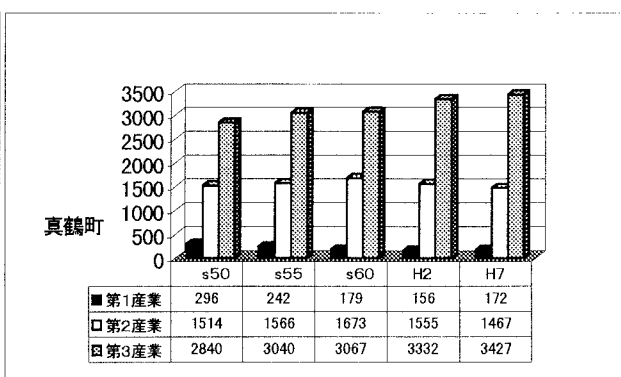
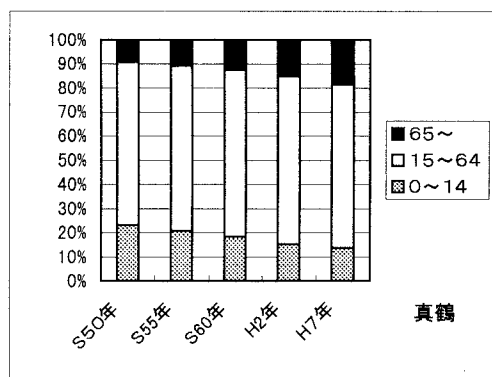
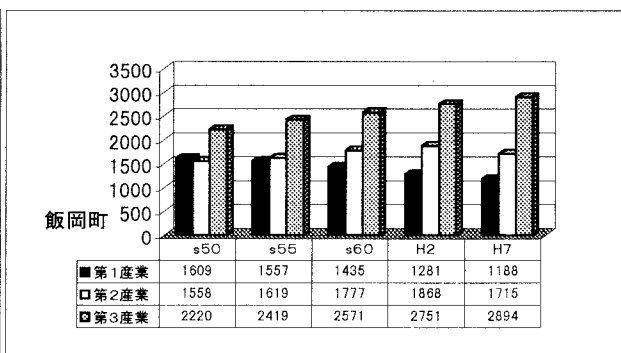
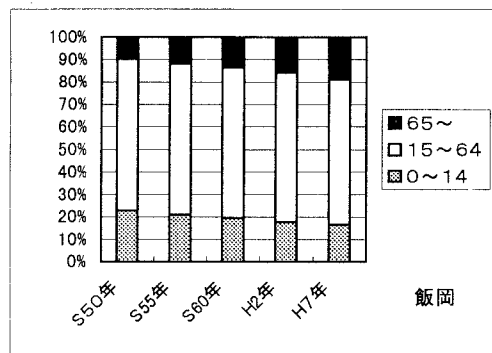
日本大学理工学部 学生会員 国場幸恒、石本新吾
正会員 竹澤三雄、前野賀彦

1. まえがき

近年、わが国の漁港・漁村は、若年層の第一次産業から第三次産業への移行と高齢者の増加によって、過疎化が進行しているといわれている。特に、東京を中心として、大都市圏への通勤・通学が可能な漁港・漁村では、その傾向が顕著である。本研究で取り上げる千葉県飯岡町と神奈川県真鶴町は、それぞれ東京駅から約100kmの所に位置しており人口もそれぞれ約10000人の町で、東京駅への通勤・通学の限界点であると考えられる。本研究は、現在、この両町において、住民がどのように流動し、漁港を中心としたこれらの町にどのような環境変化が生じているかを現地の資料と踏査によって、検討したものである。

2. 人口と産業別就業者数の推移

千葉県飯岡町と神奈川県真鶴町の昭和50年から平成7年までの年齢別人口推移と産業別就業者数の推移は図一1、2のとおりである。¹⁾ 図一1より年齢別には65歳以上の高齢者人口が増加し、15歳未満の若年層人口が減少しており、両町とも日本全体の人口推移とほぼ同傾向を示している。図一2の産業別就業者数の推移についても農業・林業・漁業などの第1次産業就業者数が減少し、サービス業などの第3次産業が急激に増加しており、これも日本全体の就業者数推移傾向と似ている。飯岡町と真鶴町の比較で極端に異なることは農業就業者の数で、これは両町の地形および土地面積の差によるものであると考えられる。



図一1 年齢別人口推移

図一2 産業別就業者数推移

キーワード 漁港・漁村 人口 産業

連絡先 (千代田区神田駿河台1-8・03-3259-0676・03-3293-3319)

3. 漁業経営体の構成について

飯岡町には飯岡漁港（第1種漁港）、真鶴町には真鶴港湾、岩漁港（第1種漁港）がありそれぞれの漁業就業者数、漁業経営体数、漁船（動力船）隻数、漁業管理組織参加経営体の最盛期の海上作業従事者数及び平均従事日数、1経営体の平均漁獲金額（万円）は表－1のとおりである。²⁾

表－1 漁業経営体の構成

	漁業従事者数	漁業経営体数	漁船（動力船）		最盛期の海上作業従事者数			平均従事日数	1経営体平均漁獲金額（万）
			隻数	トン数	計	家族	雇用者		
飯岡町	70	19	27	131.32	65	31	34	169	2173
真鶴町	92	38	41	180.61	35	32	3	180	1890
岩	27	6	6	42.94	12	10	2	160	2413
真鶴	65	32	35	137.66	23	22	1	183	1792

4. 観光客入込客数について

飯岡町にはとくにこれといった観光施設はないが飯岡海水浴場を訪れる海水浴客とサーフィンを楽しむ人々がこの町の主な観光客である。一方真鶴町は、真鶴岬を中心とする遊歩道やサボテンランドなどの観光施設があるため日帰り観光客が飯岡町に較べてかなり多くなっている。両町の観光客数とその消費金額は表－2のとおりである。³⁾

表－2 観光客入込数

	観光客総数	日帰り客	宿泊	消費金額（千円）	一人あたり（円）	主な観光施設
飯岡町	565	490	75	1927465	3411	海水浴場
真鶴町	1674	1585	89	1553296	980	真鶴岬の遊歩道

5. 各種施設

両町とも老人ホームなど福祉関係施設はなく、飯岡町の場合隣接する旭市へ、真鶴町の場合は隣接する湯河原町へ依存しているといった状況である。表－3は、病院、旅館、飲食業、鮮魚店、海洋レジャー施設（店舗も含め）などの数を職業別電話帳より調査した結果である。⁴⁾

表－3 各種施設

	病院	旅館	飲食業	魚料理店	鮮魚店	スキューバー	ヨットハーバー	水族館	遊覧船
飯岡町	6	19	15	1	13	0	0	0	0
真鶴町	3	73	35	29	24	6	1	1	1

6. 考察および結論

以上のように飯岡町と真鶴町を例として漁港・漁村の比較を試みたが、両町とも東京駅から約100kmという地点に位置し、東京までの間に飯岡町の場合は千葉市、あるいは真鶴町の場合は横浜市という大都市を有しているものの地域産業に密着して生活する人々が多い。とくに飯岡町では、漁港・漁村の町であると同時にトマト、メロン、イチゴなどの農作物の生産が盛んであり、農業と漁業の町として町の活性化を図っている。これと比較して真鶴町は岬の観光や磯釣りを主とした家族連れの観光客が多い漁港・漁村としての特徴を有していると考えられる。

（参考文献）

- 1) 自治省行政局編：住民基本台帳人口要覧
- 2) 農林水産省統計情報部：第9次漁業センサス
- 3) 食品流通情報センター：余暇レジャー総合統計年報
- 4) NTT：タウンページ（職業別）